

ちょっとひと工夫

家庭学習通信 No.24
平成29年7月発行
長野県教育委員会
学力向上推進チーム
Gチーム

— 家庭学習改善のための情報 —

1人1人の思いや願いを引き出すことから始める家庭学習改善の取組

～伊那市立伊那北小学校の実践～

Gチーム研究班 高橋 廣貴（総合教育センター専門主事）

6月27日に、総合教育センターの研修講座「家庭学習のあり方を考える ～学力向上につながる家庭学習を目指して～」を開催しましたところ、県内から小中学校合わせて20名の先生方の受講がありました。

講座では伊那市立伊那北小学校と飯田市立緑ヶ丘中学校の実践発表がありました。緑ヶ丘中学校の取組についてはN016,21で紹介したので、今回は伊那北小学校の取組について、その一部を紹介します。

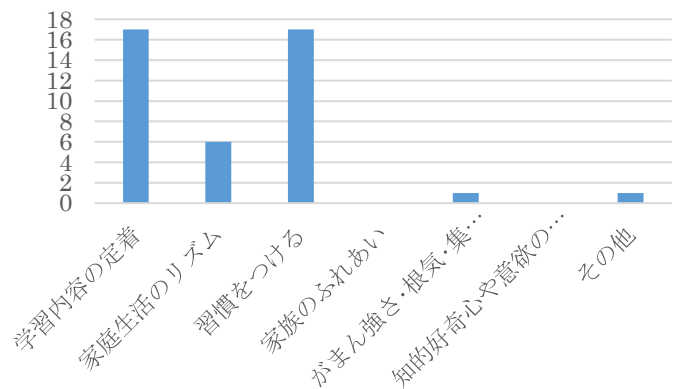
まず先生方の考えを聞きいて、そこから始めたい！

伊那北小学校の家庭学習改善の取組は、先生方の家庭学習に対する考えをお互いに知るための職員アンケートからスタートしました。担当係からの一方的な提案で推進するのではなく、先生方1人1人の思いを引き出し、その思いを集め、全職員の関わりを通して改善の方向性を共有し、みんなで進めようという考えによるものです。

アンケート項目

- ① 家庭学習の効果として特に重視していることは何ですか？
- ② 家庭学習にかける時間は平均的な子でどれくらいですか？
- ③ 家庭学習の具体的な内容は？
- ④ 宿題の出し方等に関わる工夫や実践、成果は？
- ⑤ 家庭学習について、学校として統一して取り組みたいことや、実行できそうなことは何ですか？
- ⑥ 家庭に特にお願いしたいことは？

「家庭学習の効果として特に重視していること」の合計（3つまで回答した集計）



アンケートを集計して全職員で共有できるように、家庭学習に関する職員研修会を行いました。「家庭学習について共通の理解が図られてよかった。ここをスタートに『伊那北小学校の家庭学習』をみんなで考えていきたい」「学年・学級・連学年・学校として大事にしたい点が明らかになった」等のみんなで取り組んでいこうという思いを先生方がもちました。

本年度は「伊那北小学校家庭学習向上案」を策定し、取り組んでいる最中です。

家庭学習改善に向けて何から始めればよいか悩んでいるという声も講座の中で聞かれました。アンケート等を使い、先生方1人1人の考えを引き出し、お互いの思いや願いに触れながら、児童・生徒に関わっている教職員のみで改善に向けての取組の糸口を見つけていくのも1つの方法です。